

# 市街地再開発事業の検討について

別添資料  
(報告1関連)

## 1 地区まちづくり計画変更の理由

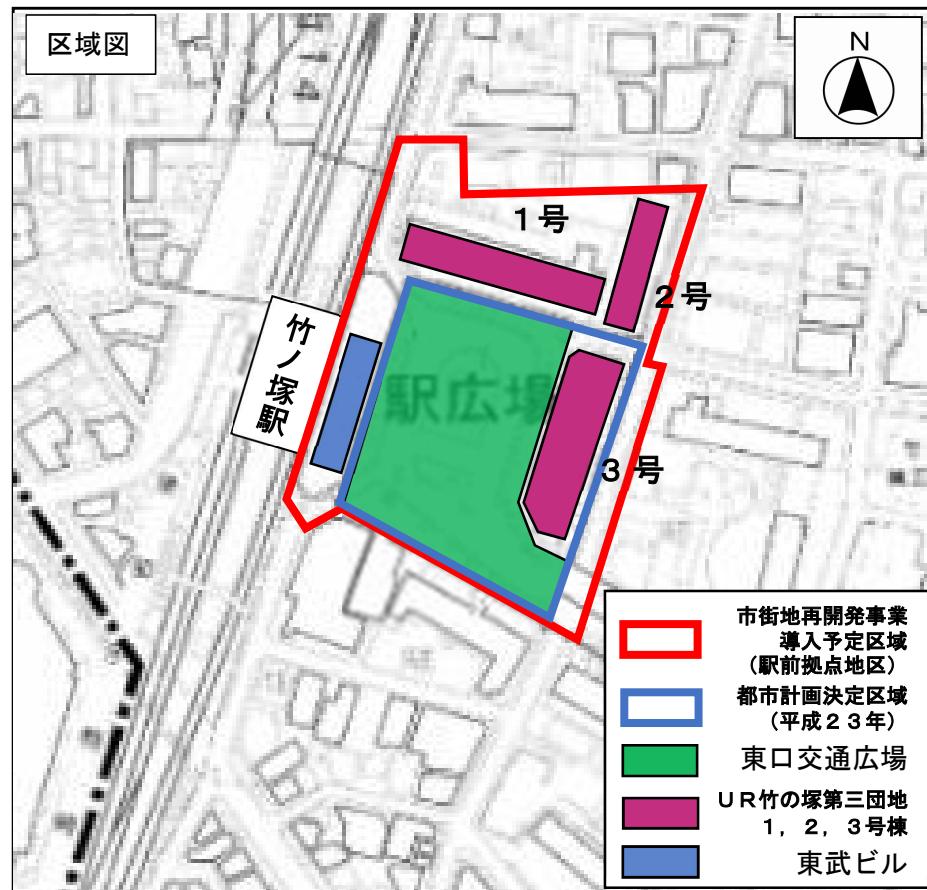
令和7年10月の足立区、独立行政法人都市再生機構（以下、URという。）、東武鉄道株式会社の三者で締結した覚書において、竹ノ塚駅東口交通広場、UR竹の塚第三団地1、2、3号棟、東武ビルの区域で市街地再開発事業を検討することを確認した。

今後、市街地再開発事業を具体化していくにあたり、東口駅前のまちづくり方針を示すことを目的に地区まちづくり計画を変更する。

## 2 市街地再開発事業の導入検討

現行の地区まちづくり計画の方針に市街地再開発事業の導入予定区域を「駅前拠点地区」と位置づける。市街地再開発事業により、駅前拠点地区の整備を先行実施することで、以下のまちづくりにつなげていく。

- (1) 東西駅前広場の一体的整備
- (2) にぎわい交流拠点の創出による「にぎわいのあるまち」
- (3) 安全で快適な歩行者空間の整備による「安心で安全なまち」
- (4) 駅前広場をみどりの重点エリアとして整備し、かつ団地再生及び公共施設の更新の機会を活かしたみどりが充実した居住環境の創出による「みどりが豊かなまち」
- (5) 滞留空間及び活動の場の整備により多様な主体のつながりを目指す「人が主役のまちづくり」

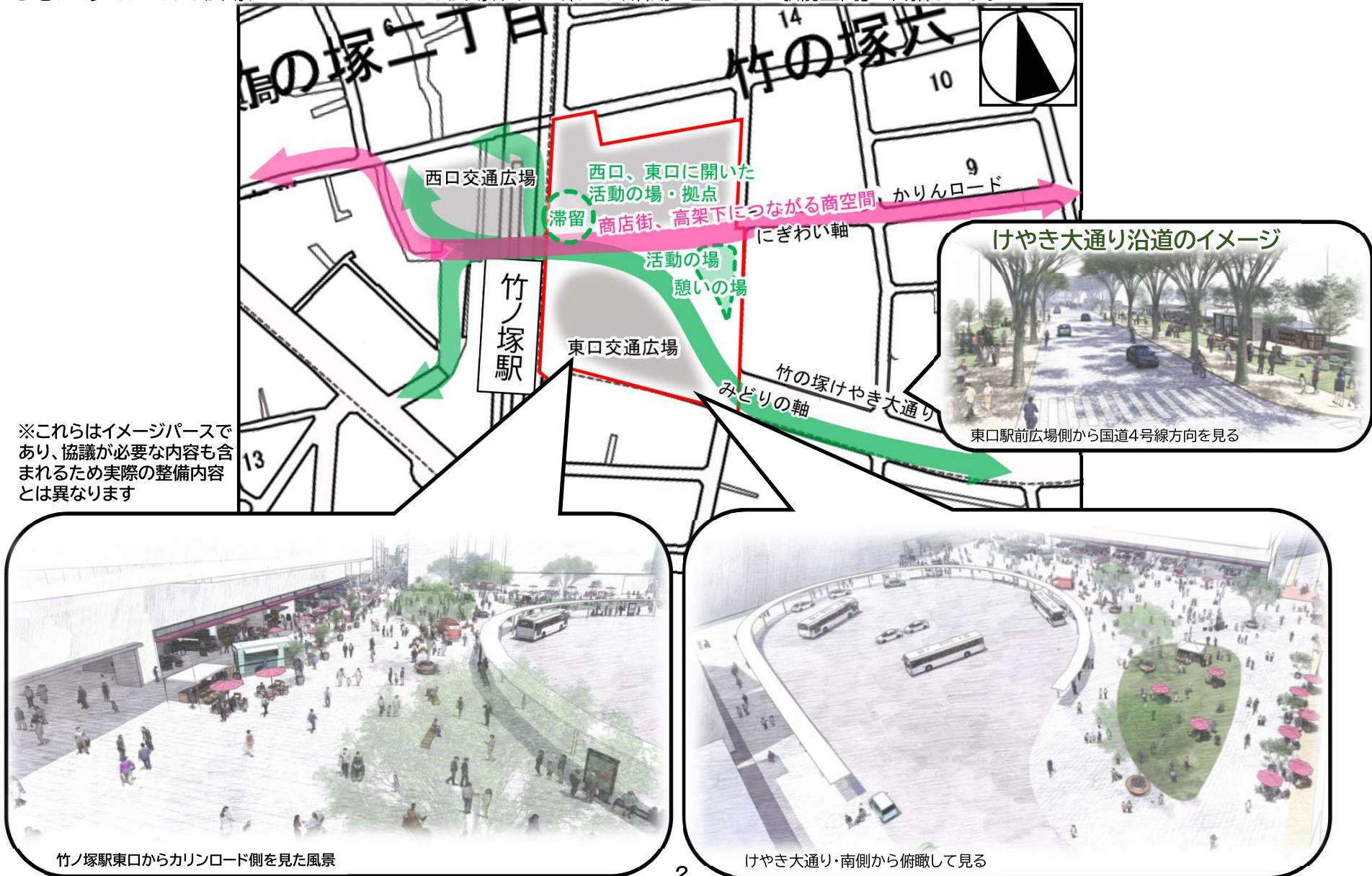


# 竹ノ塚駅東口駅前空間の将来イメージ

人が主役のまちづくり。

竹の塚に住み暮らす人、働く人、訪れた人の活動によってつくられる広場。

心地よく歩きたくなる広場、くつろぐことができる広場、人々が集まり、活動が生まれる「駅前空間」を目指します。



# 竹ノ塚駅東口駅前空間の将来イメージ

人が主役のまちづくり。

竹の塚に住み暮らす人、働く人、訪れた人の活動によってつくられる広場。

心地よく歩きたくなる広場、くつろぐことができる広場、人々が集まり、活動が生まれる「駅前空間」を目指します。



竹ノ塚駅東口からカリンロード側を見た風景



## けやき大通り沿道のイメージ



※これらはイメージパースであり、協議が必要な内容も含まれるため実際の整備内容とは異なります